

支 援

第2回 小・中学校ボランティアコーディネーターミーティング

昨年11月28日(水)に3・4地区合同小中学校ボランティアコーディネーターミーティング(VCM)、また29日(木)に1・2地区合同小中学校VCM、さらに12月14日(金)の午前に7・8地区合同小中学校VCM、午後には9・10地区合同小中学校VCMが、それぞれ町田市役所市民協働おうえんルームで開催されました。

学校支援センターからは本年度の「地域学校協働活動推進にかかわる文部科学大臣表彰」について、また「学校支援ボランティア感謝状贈呈」についての説明がされたほか、町田市教育講演会でのボランティアコーディネーター実践報告、東京都地域未来塾調査等についての説明がされました。29日には町田市政策経営部広報課の担当者から「まちだOごと(まちだまるごと)大作戦18-20」についての情報提供がありました。

その後、各VCからの活動及び活動計画についての報告、情報提供、課題提起などがあり、協議がされました。

- 学生ボランティア募集のための取り組みの事例
- ボランティア参加が学校への交通の便の良し悪しに影響される件
- 他校VCの協力・応援の事例
- 高温対策などボランティア活動中に要する配慮とその課題について
- ボランティア活動に参加する保護者の一部に見られるいくつかの問題について



○各校の「地域と連携した学校教育活動年間計画」実施に見られるいくつかの問題について
○学校としての教育活動ではなく、各教員の個人的な判断による活動である場合に生じる問題について

○児童・生徒の学習のつまずきとその対策・援助について

○ボランティアの受け入れの体制と把握・対応の在り方について

○地域学校協働活動、ボランティアについての学校の理解について

○支援を真に必要とする児童・生徒への学習支援の進め方について

この他にも多岐に亘る話題が寄せられ、全体でまた個別に活発な話し合いがされました。

東京都 地域学校協働活動推進フォーラム 2018

12月8日(土)、都庁にて「地域学校協働活動推進フォーラム」が開催されました。昨年までは「教育支援コーディネーター・フォーラム」として、企業・大学・NPO等がそれぞれ

に専門的な知識・技術をいかした教育支援プログラムについて紹介する機会として開催されていました。今回は「支援」から「協働」に変わった「地域学校協働活動推進事業」が、地域と学校とがつながり、地域の状況に沿った形で継続、展開されている取組の報告を中心に、関係者が現在について学び、今後どのように取組を実施していく必要があるか、展開できるかを考え合う場として開催されました。町田市からはVC(5名)、副校長(2名)、教育委員会指導課、学校支援センターより総計12名が参加しました。



町田市からはVC(5名)、副校長(2名)、教育委員会指導課、学校支援センターより総計12名が参加しました。

午前中の第1部では地域学校協働活動の具体的な展開について、小学校、中学校、行政それぞれから2件、全部で6件の発表が行われました。そのうちのひとつは町田市が担当した「小・中のコーディネーターと教員が参加する『地区ミーティング』、情報共有の仕組みづくり」と題する行政の取組の発表でした。

発表は、町田市における地域学校協働本部事業の説明、ボランティア人材確保の仕組み、地区VCミーティングの進め方や協議の内容、さらに学校の教育活動として取組まれる地域学校協働活動が全小中学校で展開される仕組みづくりなどについて概説するものでした。特に、地域学校協働活動を、学校が児童・生徒により深い、より豊かな学びの場を地域と共に作るものとする視点、またそれが市内全校で取組まれるようにするための仕組みづくりには

相当の関心が寄せられました。

午後は「学校を拠点に持続可能な地域をつくる」をテーマとした記念講演、基調提案を基に、参加者によるグループ協議が行われました。

関係団体の教育支援プログラムは資料集での紹介のみでしたが、小学校・中学校を対象としたものは71件です。学習の内容等については当該の団体に直接お尋ねいただくこととなりますが、連絡先等については町田市学校支援センターにお問い合わせください。

| | 教育支援プログラム | 小 | 中 | 団 体 |
|----|---|---|---|---------------------------------|
| 1 | micro:bitでプログラミング的思考を育成する | ○ | | アーム株式会社 |
| 2 | ロボット&プログラム体験教室 | ○ | | アイエックス・ナレッジ株式会社 |
| 3 | 自分らしい将来像を描く、キャリア発見プログラム「未来トーク」 | | ○ | NPO法人アスデッサン |
| 4 | 未来実現IT教室 | ○ | | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 |
| 5 | 建設業職人体験 | ○ | ○ | 株式会社WINNERS（ウィナーズ） |
| 6 | 体験をとおして学ぶ「防犯・安全プログラム」 | ○ | ○ | うさぎのママのバトロール教室 |
| 7 | 海でも！海に行かなくてもできる！体験型海洋学習教材「Lab to CLASS」 | ○ | ○ | 特定非営利活動法人 海の環境教育NPO bridge |
| 8 | 「南極くらぶ」～（知ろう・見よう・触ろう）～ | ○ | ○ | NECネットエスアイ株式会社 |
| 9 | キッコマンしょうゆ塾 | ○ | | キッコマン株式会社 |
| 10 | アンプラグド教材を用いたプログラミング教育支援 | ○ | | 株式会社教育ネット |
| 11 | 正しく怖がるインターネット 事例に学ぶ情報モラル | ○ | | グリー株式会社 |
| 12 | 自分の思いや考えをカタチにしよう！ | ○ | ○ | 株式会社GROWILL |
| 13 | 英語で新聞を作ろう！（英字新聞制作プロジェクト） | | ○ | 一般社団法人グローバル教育情報センター |
| 14 | ピエロになろうワークショップ | ○ | ○ | 劇団「汎マイム工房」 |
| 15 | 東京都プログラミング教育推進校事業byケニス | ○ | | ケニス株式会社 |
| 16 | 世界のことで話そう！「豊かな国際感覚」を育む国際理解授業 | ○ | ○ | 一般財団法人言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ |
| 17 | 出前授業(キャリア教育) | ○ | ○ | 認定NPO法人コアネット 出前授業プロジェクト |
| 18 | ものづくり&理科実験教室 | ○ | ○ | 認定NPO法人コアネット ものづくり・理科実験教室プロジェクト |
| 19 | りんごをかじろう 隣語講座 | | ○ | 公益財団法人国際文化フォーラム |
| 20 | Bridgeプログラム ～自分らしい生き方デザイン～ | ○ | | 特定非営利活動法人 こととふらボ |
| 21 | キャリア教育・ドリームマップ授業 | ○ | ○ | 特定非営利活動法人 こどものみらいプロジェクト ゆめドリ |
| 22 | 体を動かして学ぶ異文化理解「世界のダンス教室」 | ○ | ○ | NPO法人コモンビート |
| 23 | キントーンプログラミング教材：小学校4年国語の「新聞を作る」 | ○ | | サイボウズ株式会社 |
| 24 | 金融経済教育講座 | ○ | | 財務省 関東財務局東京財務事務所 |
| 25 | プログラムの仕組みや考え方を理解しよう！ | ○ | ○ | 株式会社サンゼ |
| 26 | 授業などでのプログラミング学習支援（スクラッチ×ロボホン） | ○ | | 株式会社システムサイエンス研究所 |
| 27 | 探してみよう！半径5mの社会課題 | | ○ | Japan Education Lab |
| 28 | 読売防犯セミナー（セーフティ教室）講師派遣 | ○ | ○ | 全国読売防犯協会の会 |
| 29 | Tokyoしごと倶楽部 | ○ | ○ | 一般社団法人 専門学校コンソーシアムTokyo |
| 30 | アートとデザインの出前授業 | ○ | ○ | 株式会社ソフィアコミュニケーションズ |
| 31 | プログラミングゼミを活用したプログラミング教育支援 | ○ | | 株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA） |
| 32 | ディレクトフォース 授業支援(キャリア教育) | | ○ | 一般社団法人ディレクトフォース 授業支援の会 |
| 33 | ディレクトフォース 理科実験教室 | ○ | ○ | 一般社団法人ディレクトフォース 理科実験グループ |
| 34 | 東京ガスの学校教育支援活動（出張授業・先生向け研修会他） | ○ | ○ | 東京ガス株式会社 学校教育情報センター |
| 35 | 授業支援プログラム ～シェア先生の経済教室～ | ○ | ○ | 東京証券取引所（日本取引所グループ） |
| 36 | 公務員の仕事と社会との関係 | ○ | ○ | 東京税関 税関広報聴室 |
| 37 | 言語聴覚士の仕事紹介 | ○ | ○ | 一般社団法人 東京都言語聴覚士会 |
| 38 | 助け合う社会を支えるひとりになる～血液事業から考える私たちの社会～ | ○ | ○ | 東京都赤十字血液センター |
| 39 | 働くことと社会保障 | ○ | ○ | 東京都社会保険労務士会 |
| 40 | 一生使える探求のコツ～情報整理能力を高めよう～ | | ○ | トモノカイ |
| 41 | プログラミングで電気の利用を体験しよう | ○ | | 株式会社ナリカ |
| 42 | 「小麦から小麦粉ができるまで」「小麦粉のグルテンを知ろう」 | ○ | ○ | 株式会社日清製粉グループ本社 |
| 43 | 小学校向け ASEAN出張授業 | ○ | | 国際機関 日本アセアンセンター |
| 44 | 「好き」を将来の夢に！ | ○ | ○ | 一般社団法人 日本オーストラリアンフットボール協会 |
| 45 | オラクルアカデミー プログラミング教育支援 ワークショップ教材提供 | ○ | ○ | 日本オラクル株式会社 |
| 46 | おもてなしの心とおもいやりの心を育む「おも活」 | ○ | | 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 |
| 47 | みんなで学ぼう クルマの安全 | ○ | | 一般社団法人 日本自動車工業会 |
| 48 | チャレンジ！お菓子の株式会社 | ○ | ○ | 日本証券業協会 |
| 49 | さんすう体感プログラム | ○ | | 公益財団法人日本数学検定協会 |
| 50 | 自己肯定感と自信をつける笑顔ワークショップ | ○ | ○ | 特定非営利活動法人日本ピーススマイル協会 |

| | 教育支援プログラム | 小 | 中 | 団 体 |
|----|-----------------------------|---|---|-----------------------------------|
| 51 | 弁理士による知的財産特別授業 | ○ | ○ | 日本弁理士会関東支部 |
| 52 | 楽しいお箸講座 | ○ | ○ | 特定非営利活動法人 日本マナー・プロコトル協会 |
| 53 | 白板ソフトによる子供プログラミング教室 | ○ | ○ | 白板ソフト研究会 |
| 54 | B&G 水辺の安全教室 | ○ | ○ | 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 (B&G財団) |
| 55 | 2020 東京に向けて障がい者スポーツ体験 | ○ | ○ | 堀江車輛電装株式会社 障がい者支援事業部 |
| 56 | "ちがひ"について考える／「チームの力」を感じてみよう | ○ | ○ | 一般社団法人まなびの天才畑 |
| 57 | 三菱自動車「体験授業プログラム（環境編）」 | ○ | ○ | 三菱自動車工業株式会社 |
| 58 | 未来をつくるkaigo（介護）を知ろう！ | ○ | ○ | 未来をつくるkaigoカフェ |
| 59 | 企業と学校をつなぐ、プログラミング教育 | ○ | ○ | 特定非営利活動法人「みんなのコード」 |
| 60 | 明治食育セミナー | ○ | ○ | 株式会社明治 |
| 61 | 牛乳のみみつを探ろう！ | ○ | ○ | 森永乳業株式会社 |
| 62 | 土曜学習応援団～企業・団体による出前授業等～ | ○ | ○ | 文部科学省 総合教育局 地域学習推進課 地域学校協働活動推進室 |
| 63 | ボーカロイド教育版を使った歌作りプログラム | ○ | ○ | ヤマハ株式会社 |
| 64 | 差別の無い世界を創るワークショップ | ○ | ○ | ユースフォーヒューマンライツ・ジャパン |
| 65 | Queque（クエケエ） | ○ | ○ | 一般社団法人 Unic Laboratory |
| 66 | おしごとなりきり出前道場 | ○ | ○ | 夢★らくぞプロジェクト（一般社団法人夢らくぞプロジェクト） |
| 67 | 出前授業&読売ワークシート通信 | ○ | ○ | 読売新聞教育ネットワーク事務局 |
| 68 | 「新聞閲覧台」寄贈 | ○ | ○ | 読売新聞東京本社 |
| 69 | ～法律のひろば～ THE法教育 | ○ | ○ | 一般社団法人リーガルパーク |
| 70 | 地域を自分ごとに考える キミマチプロジェクト | ○ | ○ | 一般社団法人リテラシー・ラボ |
| 71 | ワコール ツボミスクール | ○ | ○ | 株式会社ワコール |

町田第二中学校2年「中学生のためのマナー講習会」



職場体験は、実社会に出て仕事を体験することで、働くことの大変さを知り、その意義を学び、また社会の一員としての役割を担う意味を考え、自分自身の生き方に思いをめぐらせる進路学習です。生徒が最低限のマナーを身につけて臨めるようにと、講師を招いての指導が昨年10月24日に町田二中で行われました。

講師は、マナーは人も自分も気持ちよく過ごすためのものであること、人の印象は実は「見た目」が大きな要素になると実証されていること、言葉遣いや挨拶についての配慮すべきこと、自己紹介の仕方などを分かり易く説き明かした上で、現時点において企業が求める人物像（人材）、身につけておきたい資質を講演の締めくくりとして語ってくださいました。

後半は生徒全員の練習です。場面を、出向いた事業所で初めてする挨拶と自己紹介の場と設定し、言葉遣い、お辞儀の仕方、声の大きさ、話の内容などをグループごとに練習・相互評価しました。生徒の全員がそれぞれ明るく楽しそうに、積極的に練習をしていたことに感心をさせられました。



学校から職場体験事前学習についての相談を受けたVCが学校支援センターに連絡をとり、企業の社員研修の講師をボランティアとして招請しました。VCの仲立ちにより、講師は担当教員と事前打ち合わせを行った上で、学校のねらいに沿った指導をされました。